



流尾真衣リサイタルシリーズ

"Profilo"

第2回「バッハ 若き日々 ~2つの写本から~」

2023年1月21日(土)2回公演 [同一プログラム]

①12:00開演(11:30開場) ②15:00開演(14:30開場)

松本記念音楽迎賓館 Aホール

[出演]

流尾真衣(チェンバロ、オルガン)

ゲスト:谷口洋介(テノール)

J.S.バッハ:

トッカータ ニ長調 BWV912

カプリッチョ「ヨハン・クリストフ・バッハをたたえて」BWV993

ファンタジア イ短調 BWV922

コラール前奏曲「暁の明星のいと美しきかな」BWV739

カンタータ第106番「神の時は最上の時なり」抜粋

J.J.フローベルガー: トッカータ ニ短調 FbWV102

D.ブクステフーデ: チャッコーナ ホ短調 BuxWV160

G.ペーム: 組曲第2番 ニ長調より 序曲

[チケット料金]

一般3,500円/学生2,000円

アーカイブ配信視聴チケット 2,500円

(配信期間 2023年2/4 10:00~3/4 23:59)

[プレイガイド]

メール: info.corrente.musica@gmail.com

①御氏名 ②枚数・券種 をご明記のうえお申し込みください。

追ってお支払い方法、当日受付方法をご案内いたします。

東京古典楽器センター: 03-3952-5515

Yahoo!PassMarket: 「流尾真衣」で検索・または下記QRコードからアクセス

[お問合せ]

メール: info.corrente.musica@gmail.com

ほか

主催: リサイタルシリーズ"profilo"実行委員会

後援: 日本チェンバロ協会 協力: Promusica Continuo株式会社

※都合により曲目が変更になる場合がございます。ご了承ください

※未就学児のご入場はご遠慮ください。





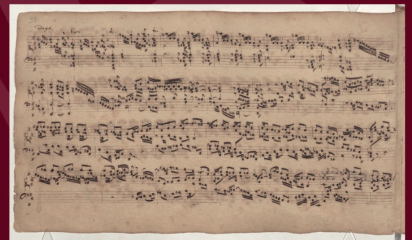
10歳までに相次いで両親を亡くし、孤児となったヨハン・セバスチャン・バッハ。死が身近であった時代とはいえ、まだ幼い子供にとってこの喪失はどれほど辛いことであっただろうか。

オールドルフでオルガニストをつとめていた長兄ヨハン・クリストフに引き取られ音楽の手ほどきを受けたバッハ。月明かりのもと、数ヶ月に渡って兄の楽譜コレクションを筆写したエピソードは有名です。バッハはその後リュネブルク、アルンシュタット、ミュールハウゼン、ヴァイマル……と各地を転々としながら、音楽の腕をたよりにその人生を歩んでいきます。

《平均律クラヴィア曲集》《インヴェンションとシンフォニア》《フランス組曲》など、こんにちピアノでもよく演奏

されるバッハの鍵盤作品。しかしこれらはみな30代以降の円熟期の作品です。バッハは若い頃、どんな作品を書いていたのでしょうか？どんな人物、どんな作品と出会っていたのでしょうか？

今回は兄ヨハン・クリストフが筆写したとされる『メラー写本』『アンドレアス・バッハ写本』を中心に、バッハ30歳頃までの作品をお届けします。



トッカータ BWV912(初期稿) メラー写本より



チェンバロ 流尾真衣 Mai Nagareo

東京都出身。4歳からピアノをはじめ、バッハの作品がきっかけとなり14歳からチェンバロを始める。東京藝術大学音楽学部古楽科、同大学院修士課程修了。

現在はバロック音楽を軸としながら作品の時代・ジャンルにとらわれず活動を展開。演劇、舞踊のほか近年では特に美術作品とのコラボレーションも多く、そごう美術館、神奈川県民ホールギャラリーにて

フェルメール、ウィリアム・モリス、大山エンリコイサムなど様々な時代の作品空間の中でコンサートを実施し好評を博した。また、0歳から聴けるバロックコンサートや古楽器でのリトミック、学童期の子どもたちへのレッスンにも取り組む。2021年、ソロリサイタルシリーズ"Profilo"をスタート。

チェンバロと通奏低音を鈴木雅明、上尾直毅、大塚直哉、平野智美、Christine Schornsheimの各氏に師事。また、ニコラス・パール、グレン・ウィルソン、リナルド・アレサンドリーニ各氏のレッスンを受ける。オルガンを徳岡めぐみに、アンサンブルを鈴木秀美、若松夏美、福沢宏の各氏に師事。東京藝術大学より安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。在学中より現在までバッハ・コレギウム・ジャパンのコーラス練習伴奏者を務め、2022年秋には声楽作品レコーディングに参加。

アルル音楽教室チェンバロ講師、アンサンブル室町メンバー、日本チェンバロ協会会員。

ゲスト:

テノール 谷口洋介 Yosuke Taniguchi

1998年以来バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の演奏会やCD録音に参加している。1999年、クラウディオ・モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」でソロデビュー。バロックから古典派のレパートリーを中心に歌唱力や表現力等高い

評価を得ている。また日本歌曲やポピュラーソングのカバー等、音楽ジャンルの枠にとらわれない幅広いジャンルで演奏活動を行い、その活躍も期待されている。声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルディ」のメンバー。

「リサイタルシリーズ"Profilo"とは？」

【profilo】[名] (男)

- 1 輪郭
 - 2 横顔、プロフィール
 - 3 側面、観点
 - 4 (建築物、船体の)縦断面(図)、側面図;(地層の)断面図
 - 5 簡単な人物紹介、人物評
 - 6 緑取り、縁飾り、笹縁。
 - 7 彫刻刀。
- (伊和中辞典 2版)

何百年も前に生まれ、時を越え国を越えて愛されてきた作品たち。チェンバロが奏でる音楽を通して、国と時代、作曲家、そして音楽の「横顔="Profilo"」を見つめるシリーズです。

■会場案内

松本記念音楽迎賓館

東京都世田谷区岡本2-32-15

Tel.03-3709-5951 (午前10時～午後5時)

●東急田園都市線「二子玉川」駅東口4番乗り場
東急バス[玉31系成城学園前駅行き]バス停
「岡本三丁目」下車徒歩5分

●小田急線「成城学園前」駅 南口2番乗り場
東急バス[玉31系 二子玉川駅行き]バス停
「岡本三丁目」下車徒歩5分

※駐車場のご用意はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

ご来場の際のお客様へのご協力のおねがい

- 1.入場時は検温と手指アルコール消毒にご協力ください。
- 2.客席内、ロビー等での会話はお控えいただき、常時マスクの着用をお願い申し上げます。
- 3.以下に該当する場合はご入場いただくことができません。
 - ・37.5以上の発熱がある
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触があった
 - ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、下痢、その他感染が疑われる症状がある。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、プログラムや開催可否、オンライン配信等、内容の変更が生じる可能性があります。これらの最新情報は下記ホームページにてお知らせいたします。

公式ページ:<https://mai-nagareo.com/>